

発行所：一般社団法人 沖縄県私立保育園連盟
〒903-0804 那覇市首里石嶺町 4-373-1 Tel.098-887-1270

発行人：上原 東 編集：広報部



「沖縄の雪まつり!」(たんぽぽ保育園)



も

く

じ



● 新年のごあいさつ	2～4P	● 新規加入園紹介	10P
● 令和6年度受賞者紹介	5P	● こどものつばやき・冬の風景	11P
● 新年交流会	6P	● おすすめ本	12P
● 県出身国会議員への要請活動(予対部)	7P	● 私保連の動き	13P
● 第36回保育研究大会報告(研修部)	8～10P	● 編集後記・広告	14～16P

年頭のごあいさつ



一般社団法人
沖縄県私立保育園連盟
会長 上原 東



あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては日頃より当連盟の活動並びに方針に対しご理解ご協力賜り感謝申し上げます、新しい年が皆様にとって良い年になりますようお願い申し上げます。

令和5年4月、“こどもまんなか社会”の実現を目指し、こども家庭庁が創設され、子どもの権利条約を基本とした「こども基本法」が施行されており、その実現に向けて「こども大綱」が令和5年12月に閣議決定されました。

当連盟では、子育て世帯の保護者及びその家族に寄り添い、こどもの権利が奪われることなく、差別のない、安全・安心が守られた環境、こどもの意思の尊重、真に子どもの最善の利益が尊重された環境を、保護者就労先も含めた地域社会とともに構築し、守れるよう活動を続けてまいります。

昨年は岸田元総理のもと、2030年までの6～7年が「少子化傾向を反転できるかどうかのラストチャンス」という認識で、3年間で取り組む具体的な対策を「加速化プラン」としてまとめた「異次元の少子化対策」を打ち出しましたが、世界情勢の悪化・円安・政治不安・物価上昇等、経済の基盤が揺らいでいる中、これらに対する予算措置が不透明であります。

誰でも通園制度・医療的ケア児の受入・相談拠

点の事業等、精神論で保育施設への押し付けがなされないよう、それらを実現できるだけの十分な国の予算措置や配置基準見直し等の政策を伴った政府の対応を昨年に引き続き求めてまいります。

又、保育士の地位の確立・向上を図るため、我々は日々研鑽を重ね、質の高い保育の提供が重要と認識し、それを国・県・市町村・社会に認めさせるよう訴えてまいります。

令和7年度は、終戦80周年という大きな節目に当たります。7月には九州保育三団体研究大会が沖縄県において1200名規模での開催が予定され、本土より保育制度の適用が25年おくれた復帰後、戦後の混乱期、母子世帯等が多く、国の支援が間に合わず、母親の就労と子ども達の育ちを守るため私財・労力を投げうって、無認可保育所を開設する苦労を苦労ともせず、パワフルに活動する女性たちの姿が多くみられました。このような保育に歴史ある沖縄の地から、こどもまんなかに据えた子育て政策・保育を発信していきたいと考えております。

さいごに、今後とも皆様からのご支援ご協力をお願い申し上げます、皆様の益々のご多幸を祈念して、あいさつといたします。

年頭のごあいさつ



沖縄県知事

玉城 デニー



沖縄県私立保育園連盟会員の皆様、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

年頭にあたり、新年のごあいさつを申し上げます。

会員の皆様には、日頃より、本県のこども達の保育や地域の子育て支援等に多大な御尽力をいただいております。感謝申し上げますとともに、心から敬意を表します。

沖縄は復帰当時、保育所等の子育て環境の整備が遅れておりましたが、国の補助事業を活用し市町村と連携の下、保育所のほか、放課後児童クラブや児童相談所等の整備を進めるとともに、延長保育や一時預かり、ファミリー・サポート・センターなど様々な子育て支援事業を実施してまいりました。

これら子育て環境の整備が進められたことにより、県民意識調査において「子供の育成環境が整っている」と回答した割合は、平成16年度調査の17.2%に対し、令和3年度調査では37.7%と20.5ポイント上昇しております。

保育所等については、施設整備とあわせて私立保育所等の保育体制整備が進められたことにより、待機児童数が9年連続減少し、令和6年4月1日時点で前年度から55人減の356人となっております。

しかしながら、待機児童が未だ解消しておらず、その背景には保育士の確保が課題となっております。

保育士の確保にあたっては、処遇改善と負担軽減が重要であることから、こども家庭庁においては、75年ぶりに4・5歳児の職員配置基準を見直すとともに、現状からの脱却を図る抜本的な処遇改善として、過去最大となる人件費の10.7%の引き上げを行ったところです。

一方、県においては、学生に対する就学資金の貸付や

潜在保育士の就労支援等保育士の確保に取り組む他、保育補助者の雇上支援や年休等取得のための代替保育士の配置支援など保育士の負担軽減や、正規雇用化の促進等労働環境改善に取り組んでいるところです。

また、沖縄県では、令和6年4月に「こども未来部」を設置し、これまでの子ども・子育て政策に加え、

妊娠期から子育て期までの包括的な切れ目のない支援を進めているところです。

現在、令和7年度からスタートする「沖縄県こども・若者計画（仮称）」の策定に向けて取り組んでいるところであり、同計画を通して誰もが安心して子育てができる環境づくり、全てのこども達が夢や希望をもって成長できる「こどもまんなか社会」の実現を目指し、各種施策に取り組んでいくこととしております。

当該計画には、第3期の子ども・子育て支援事業支援計画（「黄金っこ応援プラン」）も位置づけられることとなっており、当該計画に基づき保育等ニーズに対応した環境整備に取り組んでいくこととしております。

これらの取組を進めるにあたっては、市町村と貴連盟をはじめとした保育関係団体と連携・強化を図りながら、保育現場に求められている支援や保育制度の在り方について、認識を共有していくことが重要であります。

沖縄県私立保育園連盟におかれましては、会員相互の結束のもと、本県における保育の更なる質の向上に御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、沖縄県私立保育園連盟のますますの御発展並びに関係各位の御健勝と御多幸を祈念申し上げ、年頭の御挨拶といたします。

年頭のごあいさつ



社会福祉法人
沖縄県社会福祉協議会

会長 湧川 昌秀



令和7年を迎えるにあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様におかれましては、日頃より乳幼児の健やかな育ちと保育事業の推進に多大な御尽力を賜り、心から感謝申し上げます。

わが国では、令和5年4月に、子ども施策を総合的に推進することを目的とした「こども基本法」が施行されるとともに、同年12月には、子ども施策に関する基本的な方針や重要事項等を一元的に定めた「こども大綱」が策定されました。

沖縄県においても、令和6年度から、社会の一番の宝である沖縄の子どもたちが生き生きと暮らせる「誰一人取り残さないこどもまんなか社会」の実現を目指し、「沖縄県こども計画（仮称）」の策定を進めており、令和7年度から同計画に基づき、関係機関が緊密に連携し、子どもを取り巻く複雑化した課題に対して、横断的・重層的に切れ目なく取り組む方向性を示しています。

さて、本県の保育を取り巻く現状については、待機児童数は減少したものの、待機数は全国1位と解消には至っておらず、その背景には保育士の確保が課題となっております。

一方、女性の社会進出による経済社会の活性化の観点から仕事と子育ての両立を支援する環境整備が求められるとともに、国においては「こども誰でも通園制度」の本格的施行に向けた取り組みが進められていることから、地域における保育サービスのニーズはより一層高くなるものと考えられます。

複雑化・多様化する保育ニーズに対応するためには、保育士等の処遇改善や人材確保、職場環境の改善、不適切保育防止に向けた体制整備の強化等、保育制度を支える喫緊の課題への対応が求められております。

本会でも沖縄県社会福祉施策・予算対策協議会と協働し、併せて、今後も引き続き保育関係団体とこれまで以上に緊密に連携し、保育士の社会的地位の向上や保育制度の充実・強化に向けて取り組んでまいります。

また、一人ひとりの保育士が保育に自信を持ち、日々、子ども達と向き合い、共に成長することの喜びを実感できるよう、保育の環境や制度、質の向上に向けて取り組んでまいります。皆様方におかれましても、保育所等の意義や役割、保育士の魅力等を社会に広く発信していただければ幸いです。

本会といたしましても、地域共生社会の実現に向けて「地域の人々が明るいネットワークを築き、支え合う社会を目指す」「THANKS（サンクス）運動」を皆様とともに取り組んでまいりますので、今後とも御理解と御協力をお願いいたします。

結びに、一般社団法人沖縄県私立保育園連盟の一層の御発展と、会員の皆様並びに保育所を利用する子ども達・保護者の皆様にとって、幸多き年となりますよう心から祈念申し上げまして、新年のことばとさせていただきます。

保育所等職員への激励メッセージ

次代の社会を担うすべての子どもが、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができるよう、沖縄の「保育」を盛り上げていきましょう。

令和6年度 受賞者紹介

知事顕彰



我謝 孟親
(胡屋保育園)

全国私立保育園連盟 保育功労賞



安河山 チエミ
(たいよう保育園)



當間 美千代
(わらべ保育園)



嶺井 政史
(すだつ羽地保育園)

第67回沖縄県社会福祉大会 大会長表彰



仲村 恵子
(咲く原保育園)



宜保 明美
(あゆみ保育園)



橋口 恵美子
(沖私保連事務局)

金城 美智代先生(みぎわ保育園)も受賞されています。おめでとうございます。

全国保育協議会会長表彰



末吉 幸博
(やまびこ久辺保育園)



當山 選也
(小羊保育園)

新年交流会

2025年1月9日（木）オリオンホテル那覇にて一般社団法人私立保育園連盟新年交流会が催され、会員や日頃お世話になっている来賓の方々、関係業者の皆様がご列席下さり、総勢127名の出席者が一同に介して交流を深めることができました。

はじめに主催者を代表し、県私保連 上原東会長のご挨拶のあと、沖縄県こども未来部 比嘉哲博様（知事挨拶代読）、那覇市こどもみらい部 座安まり子様（那覇市長挨拶代読）のご挨拶がありました。沖縄県社会福祉協議会会長の湧川昌秀氏による高らかな乾杯のご発声のあと、オープニングとして oto to Art のお二人のジャズやブラジル音楽を土台にしたあらゆる種類の音楽が融合したような素敵な演奏で幕開けを飾り、会場はひときわ賑わいを見せました。

受賞者紹介では、今年度受賞された方々への花束贈呈があり、受賞者を代表して胡屋保育園の我謝孟親先生より受賞した喜びのご挨拶がありました。

新年交流会は終始楽しく和やかな雰囲気の中で進められ、出席者同士が親睦を図り今後の保育に対する思いを共有しあった新年のスタートとなりました



上原 東会長



比嘉哲博氏
(県こども未来部)



座安まり子様
(那覇市こどもみらい部 部長)



湧川昌秀氏
(県社協会長)



ウィンフィールドひろみ副会長



Oto to Artのお二人
参加者と共に即興演奏会



令和6年度受賞者の皆様
おめでとうございます。
受賞者を代表して我謝孟親先生
(胡屋保育園)よりご挨拶



いつもお世話になっています 業者の皆さん



石川キヨ子先生
「ハナコが笑った日」
出版おめでとうございます。



事務局 橋口恵美子さん
長年、私保連を支えて下さり
ありがとうございました。



司会の高江洲先生
サプライズでの歌披露も
最高でした！



総務部・青年会
議・事務局の
皆さんありが
とうございま
した。

県出身国会議員への要請活動報告

予算
対策部

予算対策部長 石川 慧

会員の皆様には、平素より当連盟の活動にご理解とご協力を賜り、特に「国への署名・カンパ運動」への毎年度の皆様から多大なるご支援とご尽力には心より御礼申し上げます。

令和6年度においても、(一社) 沖縄県私立保育園連盟の加盟園の先生方ならびに保護者の皆様のご協力のおかげで、県内で22,000筆を超える令和7年度に向けた要望事項への署名を集めることができました。また、あわせてご協力いただきましたカンパ金についても、毎年行わせていただいている沖縄県選出の国会議員(衆参両院、全政党)への請願活動の費用として活用させていただきました。

本年度の請願活動では、10名の国会議員(議員本人または秘書)へ全国私立保育連盟がまとめた保育関連の政策要望に加え沖縄県内の保育の実情や課題についての説明と要望書の手交を行い、各議員からも様々な意見が出るなど今後の保育政策に向けた共通の理解を深める機会となったものと感じております。

会員園の皆様の署名・カンパのご協力により実現した要請活動を通して、近年の少子化対策や家庭支援、保育園での不祥事など保育に関連する様々なニュースや情報が飛び交う中では、直接国会議員の元へ伺い各議員の専門分野による理解度による柔軟な説明や議員からの率直な疑問への回答などを通して、保育の担い手への理解と信頼を築くことこそ要請活動の意義であることを強く認識させられました。

本年度も要請活動の機会を与えていただきました皆様のご協力に感謝申し上げます。



【要請先(五十音順)】

(衆議院)

赤嶺 政賢 議員
新垣 邦男 議員
島尻 安伊子 議員
西銘 恒三郎 議員
宮崎 政久 議員
國場 幸之助 議員
屋良 朝博 議員
山川 仁 議員

(参議院)

伊波 洋一 議員
高良 鉄美 議員



第36回（一社）沖縄県私立保育園連盟 保育研究大会（研修部報告）

第36回沖縄県私立保育園連盟保育研究大会が、2024年12月7日（土）にリザンシーパークホテル谷茶ベイにて行われました。会場には300名を超える多くの参加者（会員299名、非会員6名、動画配信 先島2園）が大会テーマ『子どもたちの育ちと保育園の役割』について基調講演、分科会を通して学び、語り合いました。

開会のあいさつでは上原東会長からは今日の学びを明日の保育に生かしてくださいとの激励のお言葉がありました。



沖私保連 上原 東 会長

☆基調講演テーマ「森からのまなざし～分かち合いたい育ちの物語～」

講 師 写真家 森の案内人 小西 貴士先生

こんなにも子どもが愛おしくて、保育が素敵な仕事だということを改めて感じさせてくれる貴重な機会となりました。小西先生のスライドショーと紡ぎ出される詩から、二つのエッセンスが浮かび上がってきたと思います。一つ目は、「slow（ゆっくり）」であること。ゆっくり、足を止めて森や子どもに耳を傾ける。そこから聴こえてくる声なき声。それは、私たちががついつい見落としてしまっている豊かな世界観だと感じさせられました。二つ目は、「small（小さい）」ということ。小さな小さな虫や葉っぱ、石ころなど（精神的な世界も含めて）、それをカメラというレンズを通して、じっくり細かくみると、なんて世界は豊かなんだということを感じさせられました。

ご講演後、参加者の表情から、まるで湯船に浸かって、そこから出てきたような満足感溢れる表情があちらこちらで見えたのは私だけではないと思います。きっと、そのような沢山のエッセンスを持ち帰り各現場の子どもの存在を改めて噛み締めているのではないのでしょうか。



小西 貴士 氏



☆第一分科会

＜助言者 照屋建太 氏 沖縄キリスト教短期大学 教授＞ 参加者 109 名

北部ブロック いとし子保育園

『食を通して子ども達の育ちには何が必要なのかを考える』～友達とたべるって楽しいね～

中部北ブロック 咲く原保育園

『自然が教えてくれたもの』～興味が広がり、大好きがいっぱいの保育環境を求めて～

【討議の柱】

「自然」や「食」を通した心と体を育むための保育の環境作りとは？

今回、両園共にコロナ禍を経た子どもたちが、体力面からもコミュニケーション力の面からも、以前の子どもたちの姿と大分様変わりしていることに気づいた事が研究のきっかけとなっていた。

子どもたちのより良い育ちを保障するために、「自然」や「食」を通して、子どもたちの体力や、五感、コミュニケーション力など、心と体を育むための環境について各園で取り組んでいる実践を報告し、活発な意見交換が行われた。

助言者の照屋先生からは、各園にて「食育」で実践される野菜等の栽培の目的は？となげかけられ、立派なものが収穫できなくても良い。子どもたちが世話をしたり、育つ過程を観察したりすることが大事。うまく育たないことで、農家さんのすごさに気づいたり、小さなゴーヤーの実でもちゃんと苦いことなどいろいろな学びがある活動。畑がなくてもプランターを利用するなどして実践して欲しいとのコメントをいただいた。心と体を育むための環境作りについて学びがたくさんの分科会となった。



☆第二分科会

≪助言者 平田 美紀 氏 沖縄女子短期大学 教授≫ 参加者 135 名

中部南ブロック 内間みどり保育園

『子どもの視点から保育を考える』～一人一人を大切にする保育とは～

那覇ブロック あめく結保育園

『保育者の関わりと言葉を考える』

【討議の柱】

「子どもを一人の人間として尊重する保育とは」

「一人一人を大切にする保育を行うために必要な、職員間そして保護者との連携について」

発表園の2園とも、現場の課題意識から研究テーマが決まり、研究を進めていくという素晴らしい取り組みであった。また、21グループに分かれてのグループ討議では、ディスカッションが非常に活発に行われ、緊張感が漂いながらも、時折笑い声が聞こえる有意義な時間となった。グループ内の役割を決めるとき、また、討議内容の発表者を募った際には、お互いが積極的に声を掛け合ったり、手が挙がったりと、保育者の主体性が垣間見える分科会であった。

大会テーマ「子どもの育ちと保育園の役割」に繋がる分科会となり、これからも続いていく「保育」の営みに携わる者として、改めて誇りを持つ一日となったように感じる。



☆第三分科会

《助言者 岡花 祈一郎氏 琉球大学 准教授》 参加者 58 名参加

南部ブロック ときわ保育園

『MさんとWさんの出会いから生まれた保育のかたち』～違いを認め合うインクルーシブな保育～

先島（宮古）ブロック ていだの子保育園

『未来へ繋ぐ交流会』～園児と高校生の世代間交流を通して視えてきたもの～

「討議の柱」

- ・ 違いを認めあう保育をつくるためには
- ・ 園を地域に開きつながりあうためには

「視覚障害児の保育」や「地域の高校生との交流」といった、貴重な実践からの発表を受けてのグループ討議は、「同じ実践を自園で行うとしたら?」という問いから始まっていたように感じた。

岡花先生の助言の中で“インクルーシブ”という名目で、ダンピング（放り込み）が行われてはいけない」と危惧されていたように、支援の必要性が認められていても加配保育士が付けられない状況で保育が行われることや、地域との交流事業においても誰が担当者となるかなど、2つの討議の柱に対し共通の課題として「保育士不足」があることが浮き彫りとなった。様々な課題と向き合うためにも、保育士を守るための事業設計が必要だとは改めて感じた。



新規加入園紹介



社会福祉法人 まなびの樹福祉会
はっぴい保育園（宮古島市）
園長 田名 美和子

所在地：宮古島市平良字西里 1046-1
設立日：令和2年4月1日



社会福祉法人まなびの樹福祉会として令和2年4月1日より開園いたしました。法人名のまなびの樹は「いろんなことを学ぶたくさんの子どもたち」という意味です。園マークの外側の丸は保護者・地域・園を表し緑の樹は伸び行く子どもたち。一人一人の花を咲かせてほしいという意味で、クラス名は花の名前にしてあります。5歳児クラスは県花の「でいご」です。はっぴい保育園でたくさんの事を学び大きく羽ばたいてほしいという願いを込めて「樹の一番上から飛び立つ習性がある」天道虫をイメージした園マークです。

自然が豊かで採光に溢れ風通りがよく広々とした2階建ての園舎です。保育室や広い園庭で子どもたちが大きな歓声を上げて遊びまわる姿・活動する姿・声を聴きながら、眺めながら仕事ができる喜びを日々感じています。願わくば100歳までも現役でいたい私です。どうぞよろしくお願いいたします。

子どものつづやき

○園長先生が上着の下にミッキーのロング T シャツを着ていて子どもたちにそれを見せると、「先生、それ肌着？」って聞かれました。

○「園長会」
「えんちょうかいってなあに？」
「園長先生たちの集まりだよ」
「あ〜っ、おばあちゃんたちの集まりね」
「えんちょうかいで何するの？」
「子どもたちにもっと優しくするために勉強するよ」
「それなら先生は行かなくていいよ。園長先生はもう優しいから」



○お便り帳からのエピソード
11月、気温が急に下がったある日。
○さんが、「マーマー、外のクーラーすずしいね」とかわいらしい表現をしてくれたそうです。心が温まるエピソードですね。



○ロックバンドの QUEEN が大好きな K 君1歳児。
あそびの合間に「ウィ、ウィル、ウィ、ウィル、ロック、ユー」と突然歌いだし、周りの大人はびっくり!今では K 君が歌い始めると周りの1歳児も「ウィ、ウィル、…」と大合唱。ちなみに K 君、小便器のボタンをマイクに見立てて熱唱しています。将来はきっとロック歌手ですね。

○雨を見てつづやく3歳児。
S 君「雨は海の水だよ」
保育者「へーじゃ、しょっぱいの？」
S 君「ちがう、海の水が空に昇ってあめになるわけさー」
保育者「海のしょっぱいのはどこ行った？」
S 君「上に上がるとき塩はおいて上がっているわけ」
保育者「なるほど!?!」



○パズルあそびに夢中の R 君。
なかなか型がはまらず四苦八苦。側で見ていた Y 君の思わず出た言葉は「No-No-No-」必死になってパズルを教えようとする姿がかわいい。ちなみに1歳児のこの2人、まだ日本語は片言だけだね。

○歌や手遊びが大好きな1歳児の O 君。
中でも大好きな曲「犬のおまわりさん」を大熱唱。「イ・ヌの〜おまわりさん」のフレーズの時は、額に手を当て敬礼のポーズ。かわいくってかっこよくってメロメロな保育士です。



冬の風景



ムーキーおいしくなあれ!



あのね・・・



「ハナコが笑った日～」

石川 キヨ子：著 新星出版 1,980円

人が好き、旅が好き、お酒が好きー。飽くなき好奇心と旺盛な行動力ー。本人いわく「まんざらでもない年齢です」。言い得て妙な素敵な 80 歳の著者がお届けする、珠玉のエッセイ集。



「ルポ スマホ育児が子どもを壊す」

石井 光太：著 新潮社 1,870円(税込)

スマホ登場以来 16 年、教室にいるのはもはや私たちが知る「子ども」ではなくなっていた。ハイハイも体育座りもできない保育園児。教室の「庄」に怯える小学生。クラスメイトの姓すら知らない中学生。会ったその日にベッドインする高校生——児童に関する問題を丹念に追ってきた著者がデジタルネイティブの育ち方を徹底レポート。(新潮社 HP より)

「こどもになっちゃえ!」

こどもの視点ラボ：作 石田 文子：文 沓掛光宏：絵 金の星社 1,540円(税込)

大人がこどもになる体験で話題の こどもの視点ラボ® が絵本になった! こどもはギャハハ! 大人は反省…な痛快絵本! 「またミルクこぼしたの!？」とママはおこりんぼ。泣きやまない赤ちゃんに、パパはあたふた。こどもの気持ちがわからないならママもパパも「こどもになっちゃえー!」 こどもの目で世界を見れば、大変さがわかるかも。(金の星社 HP より)



「かいじゅうポポリはこうやっていかりをのりきった」

新井 洋行：著 岡田 俊：監修 PIE International：監修 1,350円(税抜)

かいじゅうポポリは、おこりんぼ。いつも怒ってばかりいます。友達と大げんかしたある日、ポポリがひとりであばれていると、怒りのマスターかいじゅうプワイズが現れて……ポポリは自分の気持ちと向き合い、ばくはつせずに上手に怒りとつきあう方法を、ユーモアあふれる絵本を通じて学べます。「かいじゅうとドクターと取り組む」感情をめぐる絵本シリーズ待望の第2弾! (パイインターナショナル HP より)

「きみのこころをつよくするえほん」

足立 啓美：監 川原 瑞丸：絵 主婦の友社 1,430円(税込)

『子どもの心を強くする すごい声かけ』の足立啓美先生の監修、『だいじだいじどーこだ』がベストセラーになっている川原瑞丸さん作画で、“レジリエンス”を育てる絵本。

対象は4～6歳の子ども。「挑戦しない」「すぐ怒る、すぐ泣く」など「うちの子、心が弱いかも?」「感情がコントロールできてない?」と不安に思っている親御さんの悩みを解決。ネガティブな感情を認め、自分自身で鎮める方法を身につけることで、立ち直る力、やり抜く力である”レジリエンス”を育てられる内容になっている。(主婦の友社 HP より)



沖私保連の動き

2024年

10月

- 3日(木) 三役会
- 8日(火) 第8回理事会
- 9日(水) 県福祉大会
- 10日(木) 研修、島川先生打ち合わせ
- 16日(水) ～19日(土) 迄 全保協(奈良)
- 17日(木) 研修、島川先生研修
- 19日(土) 中部南園内研修
- 21日(月) 事業部三役会(乙)
- 23日(水) 県センター委員会
- 25日(金) 広報部会 私保連だより154号発行
- 26日(土) 学秀館引継ぎ
- 28日(月) 保協第4回・会計指導
- 31日(木) 九州私保連会議(北九州)

11月

- 1日(金) 九州私保連会議(北九州)
- 5日(火) 九州三団体引継ぎ
- 6日(水) ～8日(金) 迄 全私保連事業部長会議
- 8日(金) 三役会 会計報告
- 9日(土) 那覇市園内研究発表
- 11日(月) センター避難訓練
- 12日(火) 第9回理事会
- 13日(水) 県・国スポ大会準備委員会
- 14日(木) 全国事前打ち合わせ(かりゆし諸見)
- 15日(金) 予対部会
- 20日(水) 社協人材育成
- 21日(木) ～22日(金) 迄 青年会議熊本大会
- 22日(金) 広報部会
- 26日(火) 研修部役員会
- 27日(水) 会計指導
- 27日(水) ～28日(木) 迄 全私保連保育実践セミナー(石川県)

12月

- 2日(月) 研究大会打ち合わせ
- 5日(木) 三役会
- 7日(土) 第36回保育研究大会
- 9日(月) 九州三団体代表者会議(沖縄)
- 10日(火) 第10回理事会
- 16日(月) 予対部会
- 22日(日) 青年会議くまもと引継ぎ
- 25日(水) 事務局大掃除
- 27日(金) 仕事納め

2025年

1月

- 6日(月) センター新春会
- 7日(火) 三役会
- 9日(木) 理事会・沖私保連新年会
- 14日(火) 研修部会
- 18日(土) 南部・中部北園内研究発表
- 24日(金) 広報部会 私保連だより155号発行



原稿募集中!!

広報部では私保連だよりに掲載する原稿を随時募集しています。

○保育士の声 ○コロナ禍の中で ○我が園の逸品 ○子どものつづき ○保育にまつわる俳句・川柳

○季節毎の子ども達の素敵な写真 ○おすすめ本・絵本 など

私保連事務局へメールでお送りください。【hoiku@okishihoren.jp】多くの保育園からの寄稿お待ちしております！





編集後記



○令和6年度も私保連だよりを無事に年3回発行することができ、ホッとした気持ちです。年度末や新年の慌ただしい中、編集作業に取り組んで下さった広報部の先生方、原稿をお寄せ下さった先生方に心より感謝を申し上げます。今年は巳年の中でも60年に一度巡ってくる「乙巳（きのとみ）」の年。新しい挑戦や転換がテーマとなるようです。2025年も足元をしっかりと固めながらもワクワクするような新しい事にトライしてみたいです。今年度もよろしくお願いいたします。（理子）

○今回も「こどものつぶやき」が面白く、お薦め本も盛り沢山です。（仲本）

○広報部会是他市町村の先生方と情報交換ができる場でもあるので参加するのが楽しみです。（H・A）

○編集作業も学び多く、その後の情報交換等とても楽しかったです。今回の私保連だよりも皆さんに読んでいただけたらうれしいです。（盛元）

○こどものつぶやき・・・こどもの感性を大切にしたいです。（M・M）

○久しぶりの広報部会。美味しい部長手作りのケーキに他の先生方とのゆんたくでほっころひの時。保育士不足に町の景観のこと、書籍の話、いろんな見方、考え方、行動の仕方を教えてくれるこの時間はとても貴重な時間になりました。（あら子・N）

○「時は矢のごとし」ぐらい毎日がめまぐるしい。「忙」は「心を亡くす」と書くので、「忙」にならないようにしたいナァ。「花鳥風月」を愛でながら心のゆとりを作りたいです。（H・W）

幼い胸に美しい夢と感動を

劇団 飛行船

<https://hikosen.co.jp>

■〒564-0004 大阪府吹田市原町4-8-3 Tel. 06-6364-3769

©CIS-HIKOSEN

私たちは「観光」と「交流」で地域社会に貢献します。

One Two Smile OTS

沖縄ツーリスト

本社：那覇市松尾1-2-3

営業本部 販売部：那覇市金城1-12-17

☎(098) 857-2222

保育園 業務支援システム

CoDMON

保護者への一斉連絡 登降園管理 園行事写真販売 職員シフト作成 指導案日誌作成 園務の効率化

Wi-Fiの導入もまとめてお任せください!

りゅうせきコードモン

株式会社りゅうせきフロンタイン

TEL.098-874-6665 担当：具志堅、喜瀬、嘉陽

沖縄県内 実績多数

沖縄 バーゲンブック

okinawa bargain book

砂場美人

sunaba bijin

【取扱い】 絵本、砂場メンテナンス、保育用品、室内・園庭遊具など

♪なんでもご相談ください♪

沖縄科学教材社

TEL/FAX 098-927-6433

〒902-0073 那覇市上間366-1 担当：島袋 卓

AIG

AIG損保

園児総合
保障制度

キッズガード

(商品名：こども総合保険)

健やかなお子様の成長のために…

☆その他、施設長・職員の皆さまへの
福利厚生の保険も扱っています。

お問い合わせは下記連絡先までどうぞ。

引受保険会社

AIG損害保険株式会社

沖縄支店：〒900-0015 那覇市久茂地 1-12-12
ニッセイ那覇センタービル 3F
TEL：098-862-2174 FAX：098-863-0960

保育園厨房機器・厨房用品全般
食器洗浄機・食器消毒保管庫等

(株)盛厨房設備 リサイクル厨房館

〒901-2122 浦添市勢理客 2-15-1
TEL：(098) 878-3182 FAX：(098) 874-2405

ひかりのくに株式会社 沖縄営業所

TEL.098-889-4339 FAX.098-889-1808

✉ okinawa@hikarinokuni.co.jp

ひかりのくに

取扱：幼児の月刊絵本・教材・楽器・積木
園児服・什器・備品・園庭遊具 他

RICOH

リコージャパン株式会社

petaluna
okinawa atomi

アロマ香水作り 出張ワークショップ

仲間と楽しく香りを選びながらつなぐを深め
自分を癒すワークショップ研修です

- 使用するアロマは上質な植物100%精油
- 必要な材料費込み、手ぶらでOK

【メニュー例】

- ・アロママスト100ml 1,650円/本
- ・アロマ香水15ml 3,300円/本
- 所要時間：1時間程度（※相談OK）
- 講師料：無料（通常6千円のところ保育園限定）

お問合せ ☎098-943-6550

平日：10時～16時（担当：和泉）

CDMON
保育園・幼稚園向けICTサービス

正規代理店

沖縄県私立保育園連盟推奨企業

あなたの「いいね!」を目指して

OIS
Okinawa Information System Co., Ltd.

沖縄情報システム株式会社

全国・沖縄県
導入実績 No.1

保育資格者による
専任サポート

ネットワーク環境整備
機器類関連もお任せ下さい

未来の子どもたちへ

絵本が育てる子供の心

チャイルドブック

明日の園環境づくりを応援します

株式会社 チャイルド本社
沖縄営業所

〒901-0203 沖縄県豊見城市長堂 144-2
(TEL) 098-856-8630 / (FAX) 098-856-8635

オキジム

〔全私保連推奨〕各種団体保険制度



有限会社ゼンポ



公益社団法人
全国私立保育連盟



東京海上日動

ほいくのほけん・こどもえんのほけん

保育施設向け 4月1日～1年間（中途加入可能）

Web
加入
可能

「園賠償責任保険」「園児団体傷害保険（学校契約団体傷害保険）」
「職員団体傷害保険（総合生活保険）」など、保育施設における最大
リスクを補償する1番の主力保険制度です。

やくいんのほけん

社会福祉法人向け 8月1日～1年間（中途加入可能）

Web
加入
可能

社会福祉法人の役員の業務遂行に関する賠償リスクやマスコミ対応費
用等のレピュテーションリスクに加えて、雇用関連トラブルによる法人
への賠償リスクもオプション付帯可能な保険制度です。

えんじのほけん

在園児向け商品 4月1日～自動更新（中途加入可能）

Web
加入
可能

「園内外問わず24時間お子さまをお守りする傷害保険」「扶養者に万が一
の場合の育英費用補償」など手厚い補償内容に加え、一般的な保険商品
と比較して約65%の割引となっているため非常に割安な保険制度です。

しょうがくせいほけん

卒園児向け商品 4月1日～自動更新（中途加入可能）

Web
加入
可能

24時間のおケガ等からお守りに加え、学校からの貸出タブレットを
含め個人賠償責任保険など卒園後のリスクを補償します。本商品も一般的
な保険商品と比較して約30%の割引となっているため割安な保険制度です。

取 扱
代 理 店

有限会社ゼンポ

TEL：03-3865-3881
FAX：03-3865-2806



引 受
保 険 会 社

東京海上日動火災保険株式会社

担当課支社：公務二部 文教公務室 TEL：03-3515-4134

このご案内は施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険・学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険・会社役員賠償責任保険・レピュテーション費用保険（レピュテーション費用特約条項付 費用・利益保険）・雇用関連賠償責任保険の
概要・団体総合生活保険（傷害保険）の概要についてご紹介したものであり、全ての事項を記載しているものではありません。保険の内容は各保険制度のパンフレットをご覧ください。また、ご加入にあたっては、必ず
「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は契約者である公益社団法人全国私立保育連盟にお渡しする保険約款によりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険会社までお問い合わせください。

連絡先



公益社団法人全国私立保育連盟指定／東京海上日動火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ

TEL 03-3865-3881
FAX 03-3865-2806

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10全国保育会館4階

無制限の動画や写真を通して、園と保護者の絆を深める連絡アプリ

全国私立保育連盟推奨（総代理店）



きっずノート

「きっずノート」は長く使い続けていただけるよう

初期費用0円・追加料金一切なし

すべての機能使い放題／

月額 5,500円(税込)のみ

無料体験実施中!

→ お申し込みは
コチラ



ご相談・ご質問はお気軽に

きっずノートサポートセンター

TEL 03-3865-3886